

【報告】愛媛ワーケーション実証実験

期間：2022年11月23日(水)～25(金)

参加者：日本情報通信(株) 15名

(桜井社長、鎌田執行役員、次世代ボードメンバー13名)

【主な行程】

- 1日目：坊ちゃん劇場にて「ジョン・マイ・ラブ」観劇
- 2日目：坊ちゃん劇場にて「演劇スキルを取り入れたコミュニケーション研修」
役者基礎訓練体験トレーニング、シアターゲーム、チームで演じる
(ドリームストーリーズ)
- 3日目：愛媛県庁様とのディスカッション
 - ・市長業務のDX推進に向けて
 - ・企業テレワーク勤務実証実験事業について

目次：

1. イントロダクション
2. 観劇（坊ちゃん劇場）
3. 樹楽の様子（樹楽でのワーケーション）
4. クールスオフィスとうおんでのワーク
5. 坊ちゃん劇場でのワークショップ
6. カンデオホテルズでのワーク
7. 愛媛県庁様とのディスカッション
8. マツヤマンスペースでのワーク
9. 総括

1. イントロダクション

ワーケーションへの参加

弊社では2019年のCOVID19による緊急事態宣言から、本格的に全社リモートワークを実施しています。

2022年11月現在でリモートワーク率は80%を超え、オフィスもリモートワークを前提とした際の出社時のコミュニケーションを円滑に取ることができる空間設計にリニューアルしました。

制度面でも「どこでもOffice制度」という、勤務場所を問わない働き方ができる制度を導入し、育児・介護による帰省、リフレッシュ休暇やワーケーションを推進しています。

一方、リモートワーク環境下での社員間のコミュニケーションやチームビルディングにはまだ課題が残り、日々試行錯誤しているところです。

そんな中、今回経済同友会様経由で、愛媛県での「企業テレワーク勤務実証実験補助」のご案内を受け、まさに弊社の課題解決の一助になるのではないかとの思いから、参加の検討を始めたのでした。

「坊ちゃん劇場」の観劇！？

「自己プロデュース力開発合宿」による自己表現力とPR力の養成！？

大きな期待（温泉！観劇！おいしい食事！日々のストレスからの解放！）と若干の不安（演じることへの不安）を持ちつつ、我々の課題を解決し、また多様な働き方の1つであるワーケーションの推進の参考になるのではとの思いから、今回事前に県庁の方から情報をいただきつつ、参加させていただくことに決めました。

いざ、愛媛松山へ！

11月23日（水）今回、弊社のタスクチーム総勢15名によるワーケーション実証実験がいよいよ始まりました。

羽田から約1時間半、飛行機を降りると「ようこそ愛媛へ」のメッセージとともに・・・



「蛇口からみかんジュース」の歓迎を受けました。
早速数名は蛇口をひねってました（笑）



天気はあいにくの雨でしたが、これから始まる2泊3日のワーケーション検証に、参加者全員大きな期待（と、若干の不安、、、）をもってバスに乗り込み、初日の宿泊施設である「樹楽」に向かうのでした。



2. 「坊っちゃん劇場」にて『ジョン マイ ラブ』を観劇

愛媛に到着した午後、早速、ミュージカル観劇です。

場所は、東温市にあるくつろぎの宿 樹楽に併設されている「坊っちゃん劇場」
こんなのだかなどところに劇場があるとはちょっと驚きでした。

早速、劇場に入っていると観劇する「ジョン マイ ラブ-ジョン万次郎と鉄の7年-」の
看板がお出迎え。



ジョン万次郎をとその妻「鉄」が幕末の日本を舞台に「自由」「平等」を掲げて活躍する姿を描いた作品です。ちなみに、ヒロイン「鉄」役はAKB48のメンバーが交代で担当されているのだそうですよ。（今回のヒロインは、吉田華恋さん）

ミュージカルが始まるまでちょっと時間があつたので売店をぶらぶら。

今回のテーマとはちょっと関係ないのですが、ちょっと惹かれるぬいぐるみがあつたので購入しちゃいました。



初めて見るミュージカル、驚きと感動

実はミュージカル観劇は初めての私。どんな風に展開されているのだろうと内心ドキドキしながら観劇スタートです。

スタートした途端、迫力のある殺陣シーンの連続。臨場感あふれる歌やダンスなど俳優さんの息遣いをすぐそばで感じることができました。

これは、俳優さんと我々観客が同じ空間と時間を共有しているからこそなのだろうなと思いました。迫ってくるパフォーマンス、シリアスなシーンでの独特の緊張感、それらを引き立たせる音響や照明設備などがミュージカルの魅力なのだと感じる。

今回の「ジョン マイ ラブ」は、まさにこれらの要素が1つになって観客である私達に伝えようとしてきていることを肌で感じる事が出来ました。

写真撮影は禁止なので様子を画像でお伝えできないことが非常に残念ですが、末尾のHPアドレスに動画が掲載されていますので是非ご覧いただければと思います。

コロナ禍でなかなか開催することが出来なかったと座長さんが言われていましたが間近で本物に触れる機会がまた戻ってきてくれてよかったな、としみじみ感じながらあっという間に2時間が過ぎてしまいました。

観劇を終えて

何と言っても、目の前で繰り広げられるミュージカルの迫力に圧倒されました。あと役者さんの歌声やキレキレのダンスに惹かれました。オンラインでは味わえないライブならではの臨場感を感じる事が出来て、大満足のミュージカル初観劇でした。

そして、周りを見渡せば劇場の他にも商業施設や温泉もありますし、気分転換して心機一転リフレッシュしてまた頑張れそうな気がしました。

ぜひ皆さんも足を運んでみてください！

坊っちゃん劇場HP

<https://botchan.co.jp/index.php#home>

3. くつろぎの宿『樹楽』

「坊っちゃん劇場」で『ジョン マイ ラブ』を観劇した後は、スパ&リゾートくつろぎの宿『樹楽』に宿泊。「坊ちゃん劇場」と同じ敷地内にあり、観劇から宿泊がとてもスムーズでした。



広々とした豪華な大浴場をはじめ、テラスやソファーに横になって大画面でテレビ鑑賞できるリラクゼーション部屋など、ワーケーションの『バケーション』にはもってこいの施設でした。キッズ部屋もあり、家族連れでも楽しめそうでした。次は、家族旅行で利用してみよかなーと密かに思ったり（笑）



チェックインした後は、2時間ほど各々の個室でリモートワーク。1階にもワークスペースが用意されており、ワーケーションの『ワーク』も充実しました。



地元食材を堪能

1日目の夕食には鯛の釜めしを堪能しました。2日目の朝は、初めての地に心が躍り、普段はしたことがない朝散歩をしてみたくなって3,40分くらい周辺を散策してみました。空気が透き通ってきれいで朝からスッキリした気分バイキング形式の朝食をいただきました。午前中はワークスペースでリモートワークした後、昼食はもち麦のそば。名前の通りもちもちした食感が独特で、愛媛の食文化の素晴らしさを堪能しました！



4. クールスオフィスとうおんでのワーク

二日目、テレワーク開始！

朝「くつろぎの宿 樹楽」をチェックアウト後、いつものお仕事をするために、同じ敷地内にある「クールス・オフィスとうおん」へ。駐車場を挟んだ向かい側にあるから、移動も徒歩でらくちん♪

「クールスオフィス・とうおん」中の様子は？

「クールス・オフィスとうおん」とは、東温市の複合レジャー施設にあるシェアオフィスです。中は会議室、談話席、電源、Wi-Fiも完備されており、仕事をするのに全く問題なし。シェアオフィス内は広々としていて、集中できそう。

入口は、貸与されたカードでの認証があるため、セキュリティ面もばっちり。



室内の様子。右の扉の奥は会議室。

仕事をしてみて

今回のワーケーション期間、通常業務をこなせる時間は限られているため、少しも時間を無駄にはできない。

到着後、好きな座席を選んで、PCを立ち上げ、Wi-Fiに接続する。スムーズに業務開始の準備が整う。今回のワーケーション参加メンバーも、各々好きな座席で業務開始



広々とした室内で業務開始。

実際に仕事をしてみると、広々としたスペースのためか周りには全く気にならず、集中できる。ひょっとしたら、普段以上の生産性を発揮できているかも。

談話席や会議室でもWEB会議をしましたが、愛媛でのワーケーション話をすると会話も盛り上がり、アイスブレイクもばっちり。普段より突っ込んだ会議が出来ました。



WEB会議を実施した談話席。背もたれが高いから、背後が気にならない。

業務の前後で、温泉やおいしい食事等でリフレッシュ、また普段と違うが整った環境で仕事をしていることもあり、集中して仕事もできるし、会議では色々なアイデアも出せたと、ワーケーションの良いところを実感しました。

シェアオフィスのある建物一階には、愛媛の特産品を売っている「あさつゆマルシェ」もあるから、気分転換や仕事終わりにちょっと寄ってみるのも楽しいかも。

地元の野菜、果物、から、変わった調味料、お弁当まで、色々売ってました。

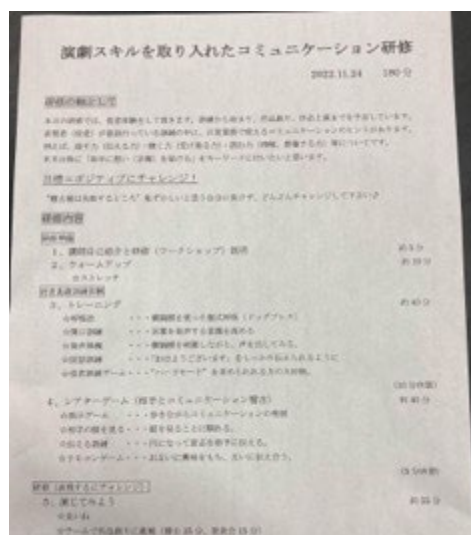
また、今回のお昼はワーケーション参加メンバーみんなで取ったので利用しませんが、レストランもシェアオフィスの建物内に複数あるので食事にも困りません。

5. 坊ちゃん劇場でのワークショップ

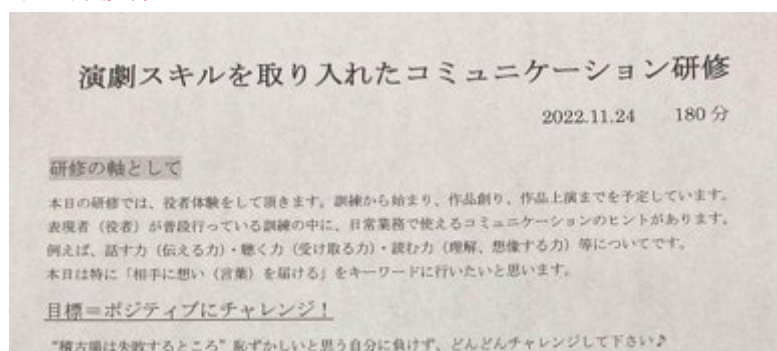
目と目が通じ合う？新感覚コミュニケーション研修

演劇スキルとコミュニケーション

当ワーケーションのメインプログラム、題して「演劇スキルを取り入れたコミュニケーション研修」に参加してきました。



↓一部抜粋



皆さん、

- ・最近心からの挨拶ができていますか？
- ・誰かと目を合わせていますか？
- ・メンバーとの信頼関係に自信はありますか？



アラフォー～アラカンの次世代ボードメンバーが初心にもどり、身体を（かなり）張って受けてきたチームワークを高めるための新感覚コミュニケーション研修をレポートします。

研修のあらまし

この研修では前日に観劇した「坊ちゃん劇場」の『ジョン・マイ・ラブ』に出演されていた役者さん、演劇指導をされている方が演劇スキルを通してコミュニケーション能力を高める研修をしてくださいました。この方々は劇団四季に在籍されていた方々で、なんか本格的・・・

何をやるのか、ついていけるのか不安になります。



1. ウォームアップ →
2. 役者基礎研修訓練体験 →
3. 実際の作劇・演劇と進んでいきますが、総じてかなりの集中力と体力が必要です。
集中力→相手の挙動・視線を終始見ている必要がある。
体力 → 常に動きっぱなし。

いくつかトレーニングをご紹介しますと・・・

呼吸法・発声体操・挨拶訓練：役者さんの普段の基礎訓練から「おはようございます。」を部屋全体に響き渡るまで練習します。

目が合った人と呼吸を合わせてハイタッチ：「せ～の」などの掛け声はNGです。

相手の目を見つめて指示を出す：声かけアリから練習し、最終的にはアイコンタクトだけで相手に意志を伝えます。

人間リモコン：パートナーの掌に、指先だけで動き（前進、後進、回転）を指示します。他のペアと接触しないように動きを指示しないといけません。パートナーは目をつぶったまま。ペアの信頼関係が問われます。

各トレーニング、トレーナーさんの指示が間髪なしに飛ぶので集中力や瞬発力も必要。き、きつい・・・



個人的に難しかったのは、ペアになって相手の目を20秒間見続ける、というもの。

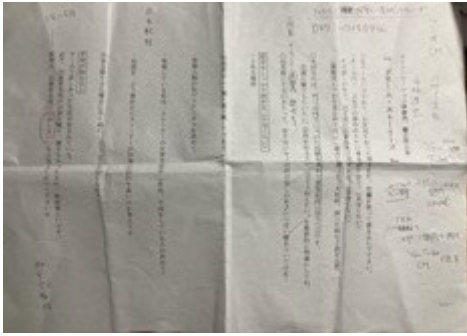
20秒ってまあまあの長さです。テレワークが当たり前になった今、画面を通して目を合わせるってやらないですよ。え？奥さんと普段からしているって？ そうですか・・・

でも20秒ですよ、20秒！往年の映画「風と共に去りぬ」ですら、20秒も見つめあっていないですよ。

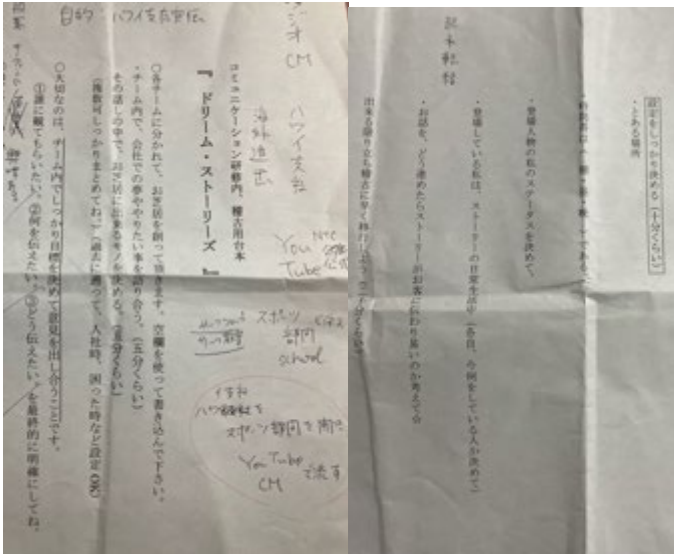
いざ、演劇体験へ

これが当研修のクライマックス。

チームに分かれ、約40分という短時間で自分たちでオリジナルの脚本作成から稽古をし、演劇します。



↓一部



オイオイオイオイ・・・劇なんて遙か遡ること学生時代の文化祭。Just a 小道具担当だった自分にたった1時間弱でそんなことができるわけないやん（涙）って心でツッコミましたが、研修は待たなしです。とにかくやらないといけません。頭をフル回転させ、練習します。



ですが途中皆、これは普段の業務でも似たシーンがあることに気づきます。そう、RFP対応や稟議書対応です。1カ月かけて作って1時間でプレゼンするのと40分かけて5分で演劇するのと、何とよく似ていることか・・・

段取り、智恵だし、配役（作業分担）、練習（リハ）、観客（お客様）を巻き込み、披露（プレゼン）する。

そうと分かれば、百戦錬磨、千軍万馬の次世代ボードメンバーです。
短い時間ながらも劇を完成させ、息の合った緩急ある演技を披露することができました！

終わりに、

3時間頑張りました！

研修が終わったときは心地よい疲労と達成感を味わうことができ、メンバーの結束が高まったように感じました。

今回は次世代ボードメンバーで経験してきましたが、個人的にはぜひとも新入社員研修やこれから会社の担っていく中堅層の皆さんに受けて欲しいと思いました。

人の目を見て挨拶をする、相手を信用する、相手の立場になって考える、一つのプロジェクトをやり遂げる、自分の役目を理解し、それを果たす。

この研修は大事なことを初心に戻って気づかせてくれる研修です。

今回は大変貴重な機会をいただき、私も今後のプロジェクト運営に生かしていけたらと思います。



6. カンデオホテルズでのワーク

2日目の宿「カンデオホテルズ松山大街道」

劇場ワークショップで疲れた身体を癒すべく松山市内に移動し、宿泊先である「カンデオホテルズ」にチェックイン。前日の樹楽とはまた違ったモダンな雰囲気でした。



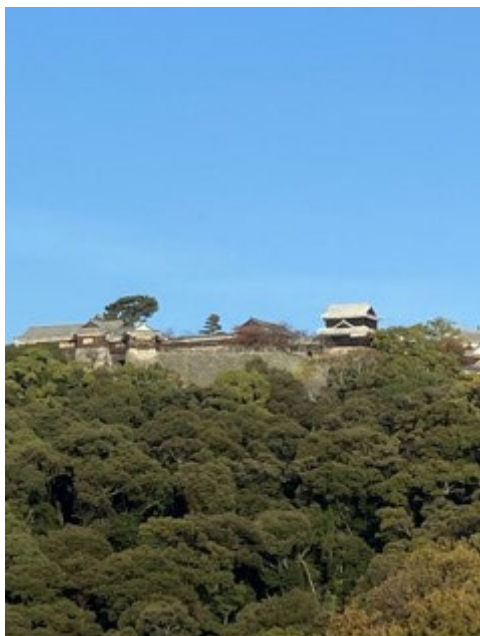
(写真：カンデオホテルズHPより引用)

ホテル最上階には「スカイスパ」があり、市街のホテルでありながら露天風呂も堪能できるのはいいですね。明日のワーケーション最終日に向けて心身共にリフレッシュできました！

チェックインが遅かったこともあり、客室でのリモートワークは控えめでしたが、デスク・Wi-Fiなどの設備はしっかりと整っていました。

客室デスクからは松山城が！日本100名城を眺めながらの仕事。

⇒ ワークेशनならではの経験です。



いよいよ最終日の朝

あっという間に3日目。朝食もしっかり食べて愛媛県庁、えひめ地域活力創造センターの皆様とのディスカッションに向かいます。



旅先では「和食」が食べたくなる。



ホテル前には路面電車も走ってました。

7. 愛媛県庁様とのディスカッション

3日目の午前中は、愛媛県庁様とのディスカッションを行いました。

場所は、松山市駅すぐそばのレンタルスペース「Progresso eventroom」をお借りしました。とても新しくてきれいなところです。



ディスカッションは2つのテーマに分かれ、県庁のそれぞれのご担当者の方と行いました。

「企業テレワーク勤務実証実験事業について」チーム

こちらのチームは、今回松山での実証実験参加で、

- ・気付いた点
- ・改善されるとさらに良くなりそうなこと
- ・次の機会で体験したいこと

を一人ずつ発表しました。

おもてなしや食べ物のおいしさの満足度が高く、参加メンバーの絆の深まりを感じた、次の機会では地元の方との交流や地元文化にもっと触れる体験をしたい、という意見がでていました。

県庁様からは、愛媛県で用意されているワーケーションプランのご紹介を頂きました。その後全員で、どうしたら差別化できるかなど、和やかな雰囲気ディスカッションを行いました。



「市町業務のDX推進について」チーム

こちらのチームは、まず弊社でのDXの取り組みとして、自治体様へのDX人材派遣での状況やカスタマーエクスペリエンス事例、XRについてご紹介しました。

実際PJに参加しているメンバーが東京からWebで会議に参加し、イベントルームのプロジェクタと大きなスクリーンを利用して、ご説明しました。

次に県庁様から、現在までの取り組みをご説明いただきました。

県庁様側もWeb会議でご参加の方もいらっしゃって、県庁様というと固くオンサイトだけというイメージがあったのですが、こういった点も含めてDXを進めていらっしゃることを実感しました。

最後に質疑と課題についてのディスカッションを行いました。

県として市町とどのように共同して進めればよいか、住民本位のDXとはどういう形か、DX人材育成についてなど、様々な課題について話が発展し時間が足りないほどでした。



最後に

県庁のみなさま、貴重なお時間ありがとうございました。

ディスカッション後、県庁の方にランチにおすすめのうどん屋さん「ことり」も教えていただき、早速ランチで行ってみました。

とても優しい懐かしい感じのお味でした！



8. マツヤマンスペースでのワーク

ワーケーション最後の行程・・・そして帰路へ

一連のワーケーションも、いよいよ最後の行程となりました。

愛媛県庁様とのディスカッション終了後、松山市駅徒歩30秒のコワーキングスペース「マツヤマンスペース」へ移動。まずは、愛媛県庁様とのディスカッションの振り返りと整理を実施しました。その後、総括として、今回のワーケーションについての参加メンバ感想と、印象に残った点など、まとめのディスカッションを実施しました。本ワーケーションが終了してしまうことに対する一抹の寂しさがにじむ発言が多く、割と静かな会議となりました。



各自、お昼ごはんの後、帰りの飛行機時間いっぱいまで、引き続きマツヤマンスペースで個別ワーク。私はWeb会議の予定があったので、個室スペースをお借りしました。個室スペースはマツヤマンスペースのレンタルオフィス内（別ビル）にあるため、少し徒歩で移動。

レンタルオフィスに入ると、愛媛のビジネスマンが忙しそうに仕事に勤んでおられました。

ワーケーションの心持ちだからなのか、街中はゆったりとした雰囲気を感じていたのですが、急に仕事モードに引き戻される感じがしました。



さすがレンタルオフィス。ディスプレイ、電源など完備されており、快適なWeb会議環境です。個室は鍵もかかりセキュリティも安心。このようなWeb会議可能な個室が、観光地近くにあると、バケーションとワークの切り替えが早く、時間を有効に活用することができます。



※レンタルオフィスのWeb会議個室写真（右）は、マツヤマンスペースのHPより引用

Web会議も終わり、再び元のビルへ移動。普段は単なる移動になるところが、松山市の街並みに気分転換もしながらの徒歩移動で再びゆったりとした気分です。

さてさて、そうこうしているうちに、とうとう帰りの飛行機の時間が迫ってまいりました。

松山は空港も近く便利です。バス1本で松山空港まで移動しました。スムーズに移動できたので比較的時間も余裕があり、ゆったりとお土産を吟味し、帰路についたのでした。

眼下に広がる街並みと夕日、感傷に浸りながらのフライト・・・そして心の中で思ったのです。「ありがとうございました、愛媛県！また来ます！」



9. 総括

今回の実証実験で私たちが得たもの、学んだもの

今後のビジネス活動にも必要な「おもてなし」の心

このワーケーション体験を通して、我々全員がまず最初に思ったこととして、今回お世話になった皆様から受けた「おもてなし」が非常に素晴らしいものであった、という事でした。

雨の中の移動に全員分の傘をご用意いただき、詳しくは言えませんが、夕食時のサプライズ演出、チェックアウト後にも関わらず、私たちを次の宿泊施設までバスで送っていただき、等々。

これらは、私たちの想像を超えたレベルでのサービスで、非常に感動する内容でした。

おそらく、「愛媛の良さを回りに広めてもらいたい」、「リピーターになってもらいたい」といった、皆様各個人それぞれいろいろな思惑や狙いがあるのだと思

ますが、共通する事として「お客様により素晴らしい体験をしてもらいたい」という思いが、こういった「おもてなし」につながっているのだと感じています。これは私たち「おもひをITでカタチに」ITソリューションを提供する日本情報通信にとっても非常に重要なことであり、学ぶべき事でもあります。

チームの絆をより強固にするワーケーション

また今回、チームビルディングで非常に大きな成果があったと思います。みんなで「同じ釜の飯を食う」、ワークショップで「チームで一つの作品を作り上げる」事で、より絆が深まりました。コロナ禍以降、基本的に全社員リモートワークでの業務となっており、リアルな場で一緒に仕事をする機会が非常に少なくなっている為、愛媛という非日常の環境で、メンバー全員で何かに取り組む空気感をリアルで肌で感じられたこの経験は、日常であるリモートワークに戻った後も忘れられない経験として、チームをより強くすることにつながると確信しています。

最後に、

ワーケーションは、「ワーク+バケーションの造語」ではありますがその土地で出会った人々との対話を通じて新たな発見ができたり、一緒に参加したメンバーとの絆がより強固になったりと、一言では語りつくせないたくさんのものを得ることができた大変有意義なものとなりました。ワーケーションが手軽にできるようになった今だからこそ、ぜひ多くの皆さんに体験してもらいたいと思います。



※坊ちゃん劇場にて

愛媛でのワーケーション実証実験に参加させていただき、ありがとうございました！

(参加者) -----

代表取締役 社長執行役員 桜井伝治

執行役員 鎌田晃治

エンタープライズ第一事業本部 第一営業部 第二グループ グループ長 島中裕宜

エンタープライズ第一事業本部 第一プロジェクト部 第三グループ グループ長 関口匠

エンタープライズ第二事業本部 第三営業部 部長 菅谷友理子

エンタープライズ第二事業本部 第二プロジェクト部 第三グループ グループ長 増田知子

データ&アナリティクス事業本部 事業企画部 部長 金敷克典

クラウド事業本部 ハイブリッドクラウド部 部長 志田原啓

セキュリティ&ネットワーク事業本部 セキュリティビジネス部 部長 宇治田憲彦

セキュリティ&ネットワーク事業本部 サービスインキュベーション部 第一グループ グループ長 今込真樹

EDI事業本部 システム開発部 担当課長 姫野暢子

コーポレート企画部 経営企画担当 部長 奥迫勇一郎

コーポレート企画部 人事育成担当 部長 阿部隆広

コーポレート企画部 人事育成担当 人事給与グループ 担当課長 井ノ口弘記

コーポレート企画部 人事育成担当 採用育成グループ 担当部長 福嶋誠

以上